

新型コロナウイルス感染症に係る緊急影響調査（R2.4月～R3.8月）

1 調査対象

茨城県内の中小企業、小規模事業者

2 調査方法

県内商工会議所及び商工会に対し、アンケート形式の調査票送付により実施。

3 回答数

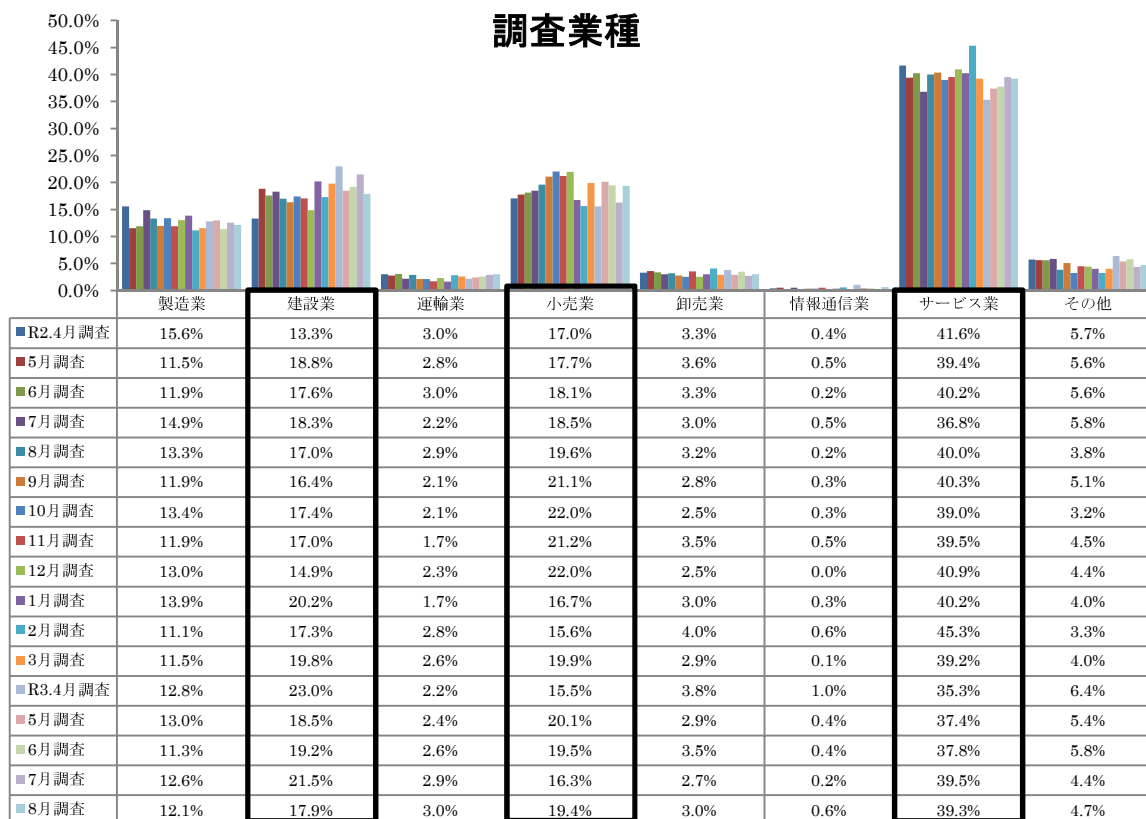
R2	4月調査： 1,297社	5月調査： 1,195社	6月調査： 1,017社	7月調査： 962社
	8月調査： 940社	9月調査： 905社	10月調査： 904社	11月調査： 933社
	12月調査： 882社	1月調査： 902社	2月調査： 891社	3月調査： 895社
R3	4月調査： 875社	5月調査： 910社	6月調査： 1,006社	7月調査： 964社
	8月調査： 991社			

4 R3.8月調査結果

（1）回答企業の業種及び規模について

【業種】

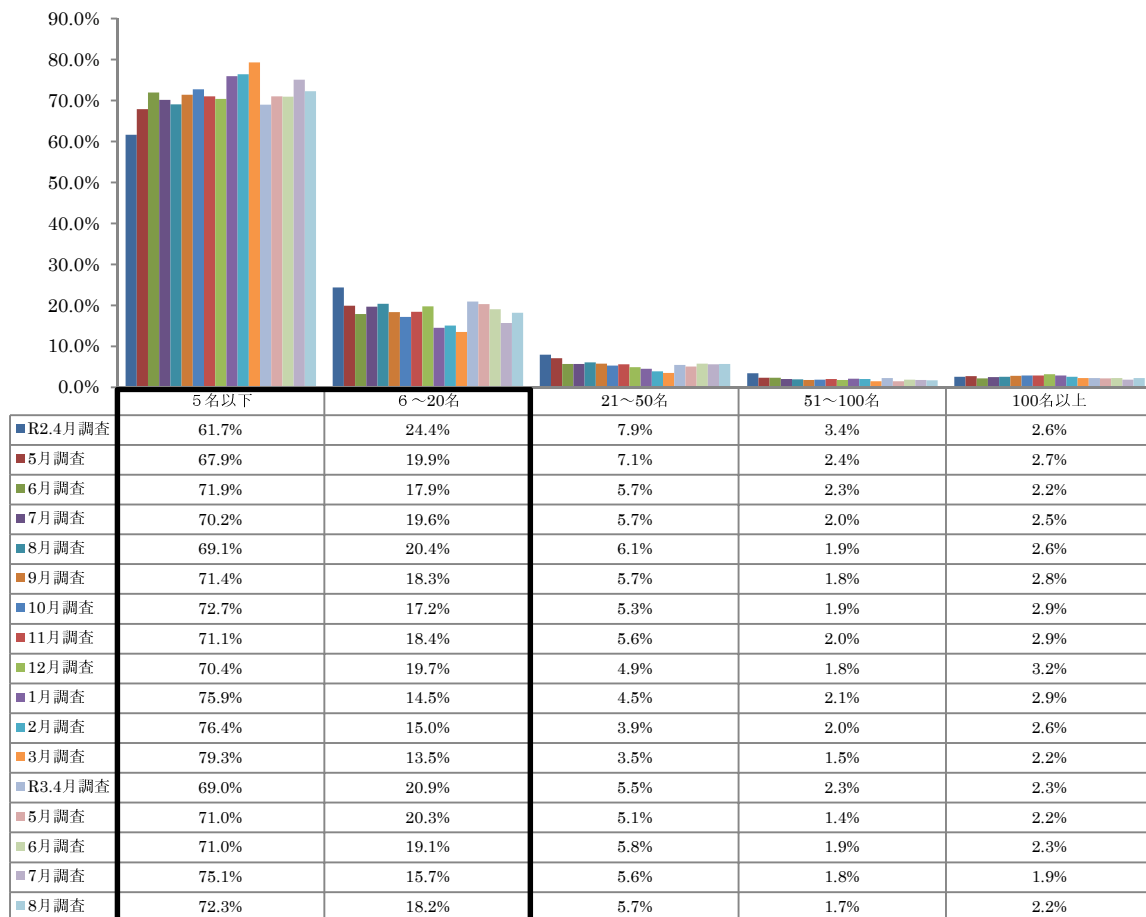
サービス業、小売業、建設業、製造業の順となっている。



【規模】

従業員数20名以下の企業が全体の9割以上を占めている。

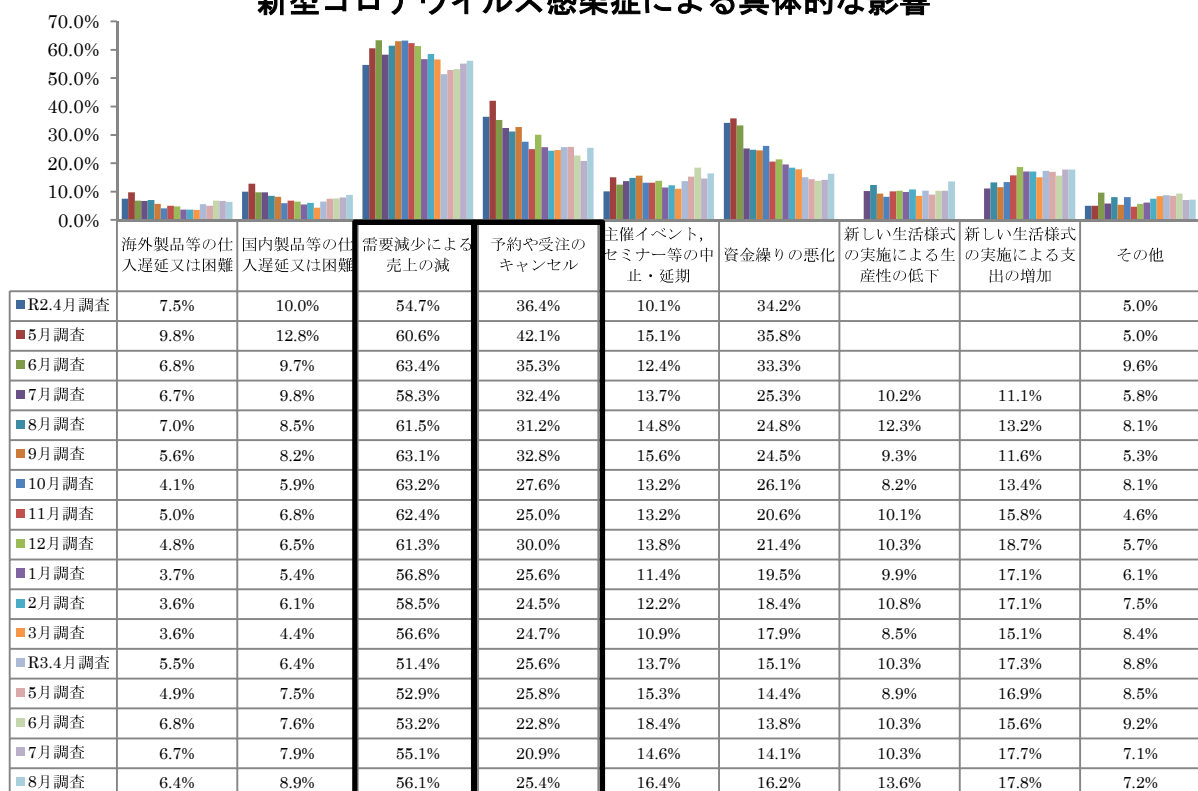
従業員数



(2) 具体的な影響について（複数回答）

具体的な影響については、「需要減少による売上の減」「予約や受注のキャンセル」が、高い回答割合となっている。

新型コロナウイルス感染症による具体的な影響



(3) 売上への影響について

令和3年7月の売上については、回答事業者の46%が、感染症流行前の令和元年7月に比べて、「30%以上売上が減少した」と回答しており、先月調査から8ポイント悪化した。

